

# 音楽で珠洲に活気

## 地元50〜70代10人クラブ結成

珠洲市内のギター愛好家ら有志10人が28日までに、音楽で地域を元気づけようと、演奏団体「SAMC 珠洲アマチュアミュージッククラブ」を結成した。12月1日には飯田町の「さいはてのキャバレー」で初ライブ（北國新聞社後援）を開催し、まちなかをにぎやかなステージで彩り、活気を呼び込む。定期的に演奏会を開いて愛好家の輪を広げ、世代や職種を超えて交流を深める。

### 1日に初ライブ

同クラブは、ギター愛好活動を再開した。一昨年の家で地元アマチュア歌手でもある理容店経営の橋本弘明さん(72)＝飯田町＝が珠洲在住者や地元出身の友人知人に呼び掛けて誕生した。

集まったのは50〜70代の男女10人で、職種は教員や会社員、塗装業、スナック経営などさまじま。それぞれが若い頃にギターやピアノ、サクソフーンなどに親しんでいたが、仕事が忙しくなるにつれて音楽から遠ざかっていたメンバーも多い。

活動を再開した。一昨年の奥能登国際芸術祭（本社特別協力）の会場となったさいはてのキャバレーでバンド演奏に協力したことを機に、音楽の面白さを伝える活動を通じて地域を盛り上げようと、演奏団体を結成することにした。

本番でピアノの弾き語りを行うセレクトショップ経営の岡山清美さん(60)＝飯田町＝、フォークソングとギターを披露する塗装業柴田正夫さん(64)＝野々江町＝は5年前から音楽活動を再開し、クラブ加入を機に本格的な練習に取り組んでいる。2人は「上手、下手は関係なくステージを楽しみ

代表を務める橋本さんも約20年間、趣味のギター演奏から離れ、理容店の経営が軌道に乗った57歳の時に

たい。そんな愛好家の輪が広がればうれしい」と成功を誓い合った。

ライブは12月1日午後1時半からで、入場は無料。メンバー5組がフォークソングやジャンソンのほか、ギターやピアノの弾き語りを披露する。

橋本代表は「飛び入り参加も大歓迎だ。市中心部で老若男女が集い、音楽で交流を深められる場所を継続的に作っていききたい」と話



初ライブに向けて練習に励むメンバー

—珠洲市飯田町